

発信！「新潟のものづくり街道」 ～新潟のモノづくりを もっともっと発信する PART2～

新潟美人実行委員会
代表 栗山靖子

1 研究の背景と必要性

昨年に引き続き新潟県内のモノづくりを紹介するバスツアーを実施する。新潟県民に観光資源としてのモノづくりの工場などを訪ね、県民として素晴らしいモノづくりに誇りを持ち「新潟には何もない！！」このイメージを払しょくする。但し、昨年度末には実施できなくなっていたバスツアーは新型コロナウイルスの感染防止策を全面的に行い、3回の予定の県内ツアーの実施を行えるように考えて進めた。新潟の食に関する工場はほとんどが見学できない状態の中、可能なものを選考し実施した。また年度の秋に向かう頃になると多くの観光業でも感染防止策をとって実施というものが多くなってきた。秋にはGOTOトラベルの恩恵も受けて参加しやすい料金設定になったため参加者も定員（いつもの半数程度）の参加が安定的になってきた。昨年参加の人たちも楽しみにしていたと参加してくれるようになり、また新潟日報カルチャースクールの方からも昨年キャンセルした方面の実施の依頼も受け、このツアーの面白みや観光資源としてのモノづくりの洗い出しに共感をもって頂いていることを認識した。

新潟日報の紙面で数回募集がかかることによって集客も安定し、また紙面に載ることの信頼度とコロナ禍で感染対策をしっかりと対応してあるという安心感で参加してくれる方々がいるのだと実感した。各地域のモノづくりに関してはやはり行政や観光協会などには情報が少なく地域の知人や今回は女性のタクシードライバー企業の方々から情報を得た。コロナ禍のため5月の段階では「従業員の安全のため見学は受けません」と断られた企業が秋になると「やはり受けることにしました」と連絡をくれるところもあり、これも新聞紙面の威力かとも考えさせら

れる場面もあった。観光資源としてどのように今後広めていくかは考えていかなければならないが、1年目からバスガイドさんの参加があり、「同様のバスツアーをしてもいいか」などと聞かれるとプロのバスガイドさんに認められるようなバスツアーを今後も数コース考えていかなければと勇気をもらう。新潟県の観光にモノづくりの見学という紹介ができるように望む。今年も昨年も良いコース良い人たちに恵まれてコロナ禍の中でもいいプランニングが進んだように思っている。

2 実施に向けて

2年目の目的

- ・地域の誇りとなるような企業を選び良さを伝える
- ・コロナ禍の中で参加してくれる人の安全を守り、顧客満足度を上げる
- ・継続的に実施できるものを選択する

新潟県内を各市に分けて工場の洗い出しをする。新潟県内の上越方面を中心に巡る構想とした。

7月 上越市
10月 柏崎市
2月 十日町市

3 実施内容

1 上越市のものづくりツアー

感染防止を考えながら2年目は上越市からスタートした。感染がバスから始まった印象がありバスツアーは実施できない雰囲気だったが、バスガイド2人を含む8人でタクシーを貸し切って実施することとする。ちょうど参加のバスガイドの一人がコロナ禍でタクシー運転手の資格を取り、観光タクシーとして動きだしたところで、ジャンボタクシーでの実施には大変興味を持って頂く。

上越市で構想に浮かんだモノづくり企業は食にかかわるものが多く、電話での問い合わせに全てお断りされるという状況だった。上越に事前

に下見に行った際には高田駅の周辺には魅力的な商店や国内で最も古い映画館などがあり、観光資源には恵まれている一方で観桜会、上杉謙信のイメージが強く街なかの観光資源に磨きがかかっていないように感じた。モノづくりの工場を探すと妙高市、糸魚川市に行ってみたくい工場が見つかるがさらに遠方になるため県議の楡井氏の紹介で柿崎地区のウエノテックスを下見させて頂く。初めて一般の人に見てもらえると社長以下協力して頂けることになった。昼食会場の宇喜世では地域で活躍する女性に昼食時上越の見どころなどをご紹介いただくことにも話が進んだ。

チラシを作り集客スタート

新潟美人
発信! 「新潟ものがつくり街道」ものづくり見学ツアー Vol.4
上越市が誇るすご〜いものづくり

【日 期】 7月21日(日)
【集 合】 8:00 新潟駅南口
【参加費】 9,500円(税込)
【定 員】 7名 ※先着順・先着優先

★当日のスケジュール
8:00 集合(新潟駅南口)
8:10 出発
9:45 見学①ウエノテックス株式会社
11:10 新潟市(海の博物館)【休憩あり】
高田城址公園
12:30 昼食④見学②(岩の原葡萄園 見学③)
14:00 見学⑤(岩女ミュージアム)
見学⑥(酒造博物館)
16:00 出発
18:00 新潟駅・解散(新潟駅南口) ※予定

バスツアーの

企画には旅行業と一緒に取り組む必要があり、新潟市北区の株式会社フリーウェイツアーに今回もジャンボタクシーの手配等協力をお願いした。

・集客

チラシの配布(新潟美人会員や関係者)HPへの掲載、SNSへのアップなどを開始するが、コロナ禍での実施なので安全対策の説明など大変気を使った。昨年の参加者の中でバスガイドの2人にも声をかけ案内をした。併せて当日のスケジュールが滞りなく進むように各種手配を行う。プランの継続的実行性を目標に参加者を集めた。観光に対して意見の言え

る人や様々な点で評価判断のできる人へである。

・動き

下見の際には県議の楡井氏の協力が大きいくいろいろな面で地域の紹介をして頂いた。また昼食会場の宇喜世を運営する大島グループの旅行会社から実施予定のプランなど提供頂き、外国人ターゲットの企画の中に木を組んで枠を作っていく組子の体験ができることがわかりそちらの企業見学を加えることにした。

受け入れ先の工場等について

A ウエノテックス株式会社

リサイクルマシーンを使って産業廃棄物の処理を行っている。資源の再利用のために災害後の地域で大きな粉碎機を設置し、資源のリサイクル等を行っている。全国でもトップクラスの会社である。女性が多い参加者に社員総出で出迎えてくれた感じがした。



B 岩の原葡萄園

創業130年を迎える岩の原葡萄園は創業者川上善兵衛が自宅の庭園にブドウを植え葡萄園をスタートさせた。雪を利用した貯蔵庫など全国に誇れる施設がある中で施設を見学、利き酒もさせて頂いた。川上善兵衛という人となりは朝ドラに取り上げて頂きたいほど。多くのワインの試飲もあり、大変喜んで頂いた



C 百年料亭 宇喜世

百年を超える料亭をネットワークで結ぶ活動続けている料亭で、多くの著名な方々が訪れており建物も年代を物語るものであった。食事をとりながら上越在住の方から様々なお話を頂いた。斉木さんは謙信公祭で女性初めて上杉謙信公役をやられた方で地域では地域おこしの活動をしている。また宇喜世の経営者で大島グループ代表の大島さんにも宇喜世存続の経緯と保存等についてお話を頂いた。地域の方々と交流を持つこともとても大切なことと感じた。



D 警女ミュージアム&世界館

上記2か所は高田の商店街の中での古い建物を活用して運営している施設。高田警女の資料展示している古民家、また映画館としては国内で一番古いと言われる建物を再活用して映画上映をしている世界館。説明付きで2つの施設を見ることができた。ゆっくりと見学することができた。と移動の際にはアーケード(雁木)の説明等も歩きながらして頂き、まち歩きも楽しめる場所と認識した。



E 猪俣美術建具店

料亭宇喜世からの紹介で訪問した。このような組み木細工があまり大きくない工場で作られていることに感動した。また一般に興味を持ってもらうために小さなコースターや箸置き制作の作業もできるようになっている。大きな作品の依頼は全国から来るとのこと県内の技能士に声をかけて製作するということがあった。



多くのものを見てハードな中でも満足度の高い上越ツアーであった。バスガイドの2人は後日改めて斉木さん(昼食時面談)を訪問しバスツアーの企画提案を聞かせてもらったそうだ。また、上越タイムスという地域紙が取材してくれた。



2 柏崎市のものづくりツアー

2020 年度コロナ禍で新潟日報カルチャースクールとのコラボ企画の実施がどうなるか心配している中、カルチャースクールの方から実施の方向で始めると連絡があり、10 月に柏崎、2 月に十日町雪まつりに合わせて十日町と提案する。新聞告知用に 8 月末 2 日で日程を作り上げる。企画内容を柏崎在住の女性タクシードライバーに伝えると早出和紙の見学はどうかということで組み込み日程を作り上げる。

チラシ

新潟日報カルチャースクール・新潟県人権委員会 共催ツアー
 ～新潟ものづくり街道～
ものづくり見学バスツアー
 柏崎市が誇るすごいものづくり

新潟が誇る「ものづくり」現場を見学する人気の工場めぐりツアー。柏崎編。
 11年連続の全国生産者大会で賞状を授けられたアジスター製紙技術を学ぶ工場見学が、
 早稲田酒造、トナリド・キーンセンター、水村米造り酒造など、新潟県
 特産品は、柏崎名物の鯛茶漬、お盛り自由の内容をお楽しみいただきます。
 ・人数にも大満足！この機会に新潟の魅力を再発見しませんか！

【旅行日程】 **10月23日(金)**
 【旅行代金】お一人様 **13,600円**⇒9,100円
 ※GOTO トラベル対象。地域共通クーポン付き
 ※交通費、食事代(昼食1回)、チケット代含む
 【募集人数】22名 ※最少旅行人数 18名
 【申込期】同行しません。但し、後日ご案内します。

日帰りバスツアーコース(予定)
 7:45 新潟市東区 出発～新潟市 門出和紙(見学)
 ～茶房酒造の発酵釜・肌ノ島集落(見学)～新潟岡本硝子(見学)
 ～鯛めし屋「割煮いなほ」(昼食)～石ノ井茶舗・キーンセンター柏崎(見学)
 ～水打無選果産地(見学)～17:00 新潟市東区 到着

【イベント企画】 新潟県人権委員会 TEL (025)235-1388
 新潟日報カルチャースクール TEL (025)385-7340・7341
 【旅行企画・実施・お申し込み】
 株式会社新潟日報サービスネット 企画事業課・旅行係
 TEL (025)250-0100 (受付時間 9:00～17:00)
 新潟日報カルチャースクール TEL (025)235-1388 (受付時間 9:00～17:00)
 ※本ツアーは「19日 北陸地域づくり協会の協賛ツアー」です。

A 門出和紙

旧高柳町にある和紙作りを見学する。かつては冬場のみの和紙製造であったが、朝日酒造さんの酒瓶のラベルに使われるようになり通年製造するようになった。また世界的に活躍する隈研吾氏とのコラボによって和紙を使った建築に協力。世界を回る活躍をされている。様々な和紙の作品も展示されている



B 荻ノ島集落

高柳の茅葺集落として有名。時が止まったような集落でのどか。中に隈研吾氏作の集会場があり早出和紙が使われていた



C 新潟岡本硝子

シェア世界一を誇るプロジェクター用反射鏡を作っている会社。日常生活とかけ離れていると思っていたが、おなじみの化粧品 SK II のボトルも作っていることがわかり参加女性には親しみを覚えて頂いた



D 鯛めし屋「割煮いなほ」

柏崎名物鯛茶漬を有名にしたお店。2013 年全国ご当地どんぶり選手権グランプリを受賞。こだわりの柏崎鯛料理を堪能した。本来は昼の営業をしていないのだが、お願いして開けてもらい本当に良かった



E ドナルド・キーンセンター柏崎
日本の文学を世界に広めた貴重な重鎮故ドナルドキーン氏の偉業を紹介する施設。
ブルボンの全面的支援でキーン氏の NY のお部屋がそのまま再現されているスペースもある。
社長の奥さんにご案内頂いた。



F 木村茶道美術館
紅葉少し前の木村茶道美術館で国宝級のお茶碗でお抹茶を頂いたり、美術館の庭園のかつての持ち主のお孫さんという飯塚氏から当時のエピソードを交えながらご案内頂いた。



このツアーは GOTO トラベルの対象となり参加費の割引、県からの助成等がある大変お得感のあるツアーとなった。

30日町のものづくりツアー

十日町雪まつりの前日の賑わいや雪像などを見ようと雪まつりの前日にツアー日程を決める。その後東京などで非常事態宣言が出されたためなかなか雪まつりが実施されるかどうか決まらず結局中止となり残念だった。また3年ぶりの大雪で、大雪を見るツアーともなった。当日は青空が広がり気分的にメリハリもあっていいツアーとなった

チラシ 他



新潟日報の募集記事。十日町案内に合わせて昨年中止の五泉、安田の募集もある

新潟日報カルチャースクール・新潟県人定行委員会共催ツアー

～新潟ものづくり街道～
雪の中のものづくり
十日町に織物文化を訪ねて

新潟の誇るものづくり、現場を見学する人々のため大リツアー
 全国有数の着物の生産地として有名な十日町にて、染織工場やレース工場を見学した後、
 周遊「松島町」にて昼食をお楽しみいただきます。
 さらに、国宝「火輪堂」も、見学された十日町市博物館の見学も予定。
 一人参加も大歓迎！この機会に新潟の魅力をお楽しみください！

【旅行日程】2月19日(金) **昼食お土産付き**

【旅行代金】お一人様 10,800円

※交通費(観光バス)、食事代(昼食1回)含む
 【募集人数】30名 ※最少旅行人数22名
 【添乗員】同行しません。但し、係員がご案内します。

日帰りバスツアーコース(予定)

8:30 新潟駅南口出発～十日町 高澤織物(見学)
 ～シルクワーク(見学)～(剱原 松島屋(昼食))
 ～根茂レース(見学)～十日町博物館(見学)
 ～15:00 新潟駅南口着

【イベント企画】 新潟県人定行委員会 TEL: (025)255-1388
 新潟日報カルチャースクール TEL: (025)385-7340・7341
 【旅行企画・実施】 お申し込み
 株式会社新潟日報サービスネット 企画事業課・旅行係
 TEL: (025)250-0300 (10:00～17:00)
新潟日報サービスネット 〒951-8501 新潟市中央区南万寿町1-1-1

※本ツアーは(一日)此種地域づくり協会の協賛事業です。

A 吉澤織物

和服離れが進む中でも十日町は京都に並ぶ振袖づくり日本一ともいわれる。着物の染、織などの工場見学をさせて頂く。工場前の雪の山に驚く参加者も大勢いた。



B 根茂レース

募集の段階ではシルクワークの工場見学を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で営業日数を減らしており見学することができなかった(この工場は着物の洗い、反物の補修、仏具関連の衣装等)見ごたえのある企業だったのに残念だった、午後から見学予定の根茂レースを午前に繰り上げて実施した。根茂レースは根茂織物から分かれてレースで和服をとという創業者の願いから始まっている。女性の下着のレースを中心に大きくなったが現在

は皆川氏の運営するミナベルホネンという NHK の日曜美術館でも紹介された洋服生地などレース刺繍生地の依頼に 24 時間体制で当たっている。日本ではこのような大きなサイズの刺繍機械はないという圧巻のスイス製の機械に皆さん大変興味をもって見学されていた



C 昼食 割烹松喜屋

十日町の人の多くが推薦するおいしいお店である。十日町と言ったら蕎麦を連想するが、十日町らしい食を提供するお店である。数日前に TV で取り上げられていてタイムリーだった



D 十日町市博物館

感染症対策で館内案内は無しとのことだった
が県内で唯一国宝を所蔵する博物館の館長さん
に是非お話を伺いたいとお願いして、館内案内
でなくホールにてご説明を受ける。その後も館
長さんは参加者と行動を共にしてくれて館内
でも様々質問を受けて頂いた。立派な国宝火焰
土器の数々。コンピューター機器を駆使した見
ごたえのある博物館だった



8 クロステン十日町

見学箇所が1か所なくなって時間調整用にクロ
ステン見学 今年の大地の芸術祭用にリニュー
アル工事が進み、美術館の見学はできなかつた
が、少々の買い物時間と休憩が取れてよかった

4 まとめ

2020年度のものづくり見学に特化したツア
ーは無事終了した。日報カルチャースクール単
独で昨年実施の村上方面、五泉市阿賀野市の2
か所を新潟美人実行委員会バックアップのもと
実施もした。継続の実施はうれしい限りである。
このコロナ禍でもまずまずの参加者があり、ア
ンケート調査での満足度も高かった。今年度の
ものも継続的に実施できる企画となってほしい
と思っている。参加者のほとんどが訪問したこ
とのない、あるいは知らない企業で、そこで身
近なものが作られていたなど興味をもって地域
を見てくれた。また目的をもって望んでくれる

参加者が多く、やりがいのあるものとなってい
る。次年度も継続的に地域を変えて実施すると
ともにさらに高い満足度を目指していきたい。

また移動するために使われる道、国道、高速
道路などについても今年度は北陸整備局の道路
関係者やNEXCOの協力によってバスの中での説
明も実施した。社会のインフラについても豆知
識として感じて頂きたいと考えている。

今後のために座談会を実施した。3月初旬、
参加してくれた人の中から数人をお願いをして
良かった点、疑問な点、改善希望など語って頂
く。主催者として一番の難しさは参加者それぞ
れが行く場所への熱意が違うことである。例え
ば柏崎に参加の方は和紙作りを見るだけでなく
体験したかった。あるいは茶道美術館でもっと
時間とってほしかったなど大変難しい課題を突
き付けられている。(座談会の内容は別紙) 多
くを入れ込むと印象が薄れるので、沢山の場所
を訪問するのは良くない。プロでも難しいとこ
ろだといった意見が寄せられている。

これらを参考に次年度の実施に向けて動いて
いきたい。

ものづくりバスツアー参加者の座談会

